

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和8年 1月22日

独立行政法人水資源機構

揖斐川・長良川総合管理所長 荒川 敏之

1. 目 的

この歩掛参考見積の募集は、横山ダム管内の管理事業で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和7・8年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、木曽川水系及び豊川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な技術者、資機材の人数等を記載して提出して下さい。また、消費税および地方消費税は計上しない見積としてください。
なお、参考見積書の様式は別紙-2を参考としてください。
- (2) 提出期間：令和8年1月28日(水)から令和8年1月30日(金)まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで
- (3) 提出先
独立行政法人水資源機構 揖斐川・長良川総合管理所長 荒川 敏之 宛
【担当】徳山ダム管理所 西岡
〒501-0815 岐阜県揖斐郡揖斐川町開田448
TEL 0585-52-2910 FAX 0585-52-2325
- (4) 提出方法
書面は持参、郵送又はファクシミリ（社印があること）により提出するものとします。ただし、責任者、担当者の部署名、氏名、連絡先を明記することにより社印を省略することができます。

4. 参考見積内容

- (1) 業務基本条件
別紙-1「見積仕様書」に示すとおりです。
- (2) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲
 - ① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（各編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。
 - ② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、上記(2)「業

務作業項目、作業内容及び作業数量」を実施する為に必要な技術者、資機材の人数等を徴取します。

(3) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和7年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

(4) 見積有効期限

令和9年3月末日として有効期限を記載願います。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

(1) 提出期間：令和8年1月23日(金)から令和8年1月27日(火)まで

持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで

(2) 提出場所：3. (3)に同じ。

(3) 提出方法：3. (4)に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

(1) 閲覧期間：令和8年1月28日(水)から令和8年1月30日(金)まで

(2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とする。

8. ヒアリング

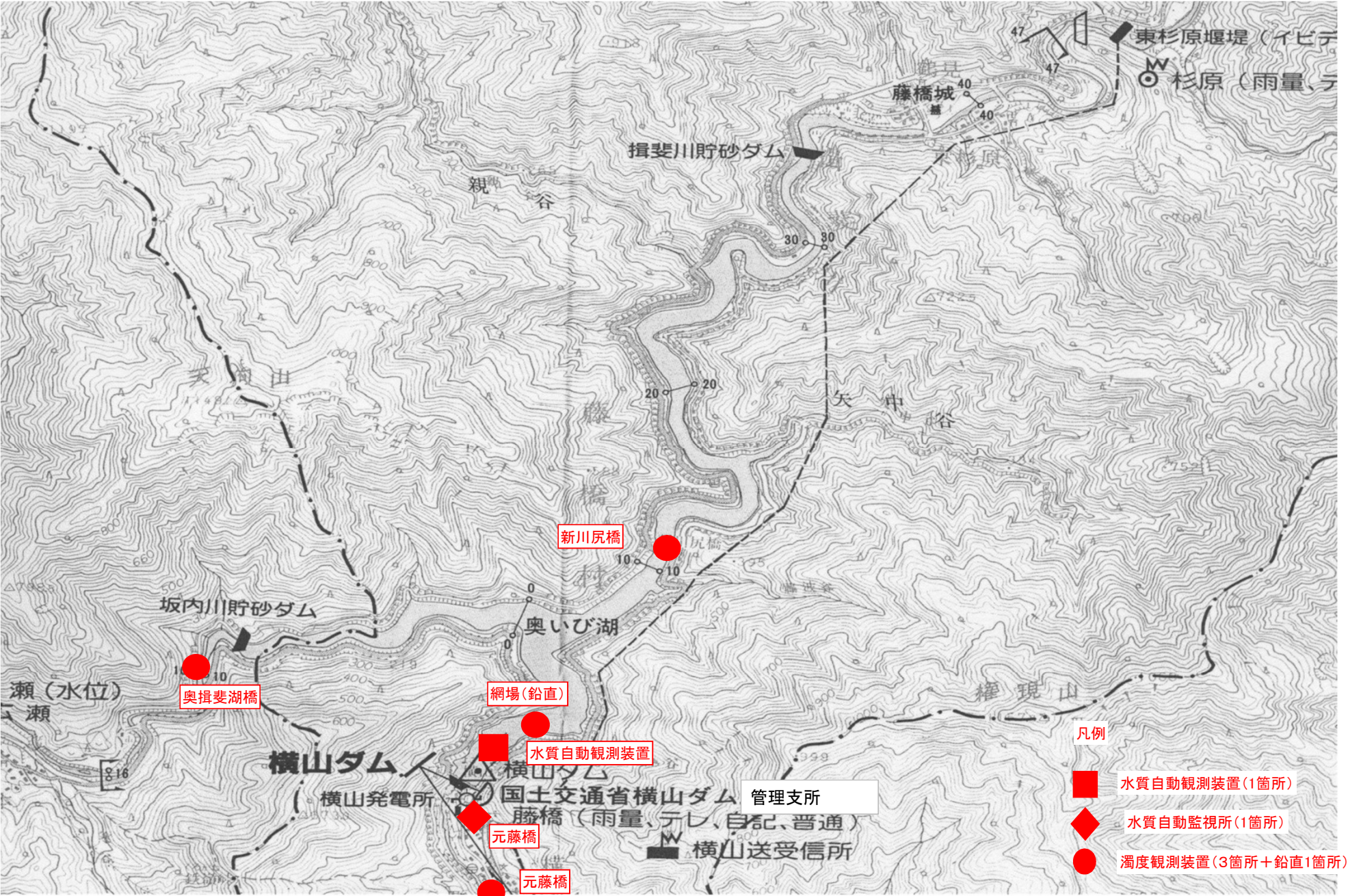
提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

9. その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

観測機器位置図①



別紙－１ 見積条件

第１節 業務目的

本業務は、横山ダムに設置されているダム観測機器の点検を行うものである。

第２節 業務内容

2-1 計画・準備

本業務の業務内容は、別紙「観測機器位置図」に示す以下の機器について、別紙「点検表（案）」に基づき保守点検を実施するものとする。

業務の開始にあたっては、保守点検時期などについてあらかじめ計画工程表を作成し監督職員と協議しなければならない。なお、各観測機器の点検内容・頻度等については表－１のとおりとする。

計画工程表については各観測機器の点検時期及び方法について明記しなければならない。また、実施前、実施中、実施後及び動作確認時の写真撮影を行うものとする。

2-2 水質自動観測装置点検

横山ダムの水質自動観測機器（濁度計、水温計、水深計、pH計、電導度計）について別紙「点検表（案）」に基づき実施するとともに、観測機器の校正及び消耗品が劣化した場合の取り替え等を行う。また、点検月点検回数は表－１による。

(1) 通常点検

観測機器の全測定項目の指示値確認、検出部の清掃、消耗品の交換、可動部の確認を行う。

(2) 精密点検

観測機器の全測定項目の検定・調整、検出部の分解清掃、消耗品の交換、昇降装置の点検、可動部注油、装置全般の稼働確認を行う。なお、検定期間中は代替機器にて観測を行うものとし、代替機器費用は含むものとする。

(3) 巡回点検

観測機器の検出部の清掃、消耗品の交換を行う。

(4) 消耗品

消耗品については表－１のとおりとするが、数量に増減がある場合は後日精算変更とする。

2-3 水質自動監視所（K-82S）点検・資料整理

別紙「観測機器位置図」に示す元藤橋水質自動監視所について別紙「点検内容一覧（K-82S）」に基づき点検を実施し、観測機器の消耗品が劣化した場合は取り替えを行うとともに、別紙「測定項目・校正方法（K-82S）」の校正を行う。なお、消耗品は計画工程表作成時に必要な品目予定数量を明記すること。

また、点検時に発生する廃液については、廃棄物処理法に基づき適切に処分することとし、発注者と協議の上変更の対象とする。

また、水質自動監視計データの整理を実施することとし、作成資料は、水文観測業務規程及び細則に基づき別紙「時刻水質月表」、別紙「水質月表」、別紙「水質年表」及び別紙「稼働率調書」とする。

2-4 濁度観測装置点検

別紙「観測機器位置図」に示す濁度観測装置（3箇所）及び濁度鉛直観測装置について別紙「点検表（案）」に基づき実施するとともに、観測機器の消耗品が劣化した場合は取り替えを行うとともに、観測機器（濁度計、水温計）の校正を行う。

なお、消耗品は計画工程表作成時に必要な品目予定数量を明記すること。

(1) 通常点検

観測機器の全測定項目の指示値確認、検出部の清掃、消耗品の交換、可動部の確認を行う。

(2) 精密点検

観測機器の全測定項目・調整、検出部の分解清掃（現地）、消耗品の交換、昇降装置の点検、可動部注油、装置全般の稼働確認を行う。

(3) 巡回点検

観測機器の検出部の清掃、消耗品の交換を行う。

(4) 消耗品

消耗品については後日精算変更を行う。

2-5 ダム用観測装置点検

横山ダムの観測機器の系統状況を確認し、別紙「点検表（案）」に基づき点検とともに消耗品等の取り替えを行う。

消耗品などについては、あらかじめ計画工程表作成時に必要な品目予定数量を明記すること。

(1) プラムライン点検

堤体内に設置されているプラムラインを別紙「点検表（案）」に基づき点検を行う。

(2) 漏水計点検

堤体内に設置されている漏水計（4箇所）を別紙「点検表（案）」に基づき点検を行う。

2-6 点検報告書作成

点検結果を整理し報告書を作成する。作成にあたっては、各機器の保守結果の一覧表を作成するものとする。第1節 業務目的

本業務は、横山ダムに設置されているダム観測機器の点検を行うものである。

第2節 業務内容

2-1 計画・準備

本業務の業務内容は、別紙「観測機器位置図」に示す以下の機器について、別紙

「点検表（案）」に基づき保守点検を実施するものとする。

業務の開始にあたっては、保守点検時期などについてあらかじめ計画工程表を作成し監督職員と協議しなければならない。なお、各観測機器の点検内容・頻度等については表－１のとおりとする。

計画工程表については各観測機器の点検時期及び方法について明記しなければならない。また、実施前、実施中、実施後及び動作確認時の写真撮影を行うものとする。

2-2 水質自動観測装置点検

横山ダムの水質自動観測機器（濁度計、水温計、水深計、pH計、電導度計）について別紙「点検表（案）」に基づき実施するとともに、観測機器の校正及び消耗品が劣化した場合の取り替え等を行う。また、点検月点検回数は表－１による。

(1) 通常点検

観測機器の全測定項目の指示値確認、検出部の清掃、消耗品の交換、可動部の確認を行う。

(2) 精密点検

観測機器の全測定項目の検定・調整、検出部の分解清掃、消耗品の交換、昇降装置の点検、可動部注油、装置全般の稼働確認を行う。なお、検定期間中は代替機器にて観測を行うものとし、代替機器費用は含むものとする。

(3) 巡回点検

観測機器の検出部の清掃、消耗品の交換を行う。

(4) 消耗品

消耗品については表－１のとおりとするが、数量に増減がある場合は後日精算変更とする。

2-3 水質自動監視所（K-82S）点検・資料整理

別紙「観測機器位置図」に示す元藤橋水質自動監視所について別紙「点検内容一覧（K-82S）」に基づき点検を実施し、観測機器の消耗品が劣化した場合は取り替えを行うとともに、別紙「測定項目・校正方法（K-82S）」の校正を行う。なお、消耗品は計画工程表作成時に必要な品目予定数量を明記すること。

また、点検時に発生する廃液については、廃棄物処理法に基づき適切に処分することとし、発注者と協議の上変更の対象とする。

また、水質自動監視計データの整理を実施することとし、作成資料は、水文観測業務規程及び細則に基づき別紙「時刻水質月表」、別紙「水質月表」、別紙「水質年表」及び別紙「稼働率調書」とする。

2-4 濁度観測装置点検

別紙「観測機器位置図」に示す濁度観測装置（３箇所）及び濁度鉛直観測装置について別紙「点検表（案）」に基づき実施するとともに、観測機器の消耗品が劣化した場合は取り替えを行うとともに、観測機器（濁度計、水温計）の校正を行う。

なお、消耗品は計画工程表作成時に必要な品目予定数量を明記すること。

(1) 通常点検

観測機器の全測定項目の指示値確認、検出部の清掃、消耗品の交換、可動部の確認を行う。

(2) 精密点検

観測機器の全測定項目・調整、検出部の分解清掃（現地）、消耗品の交換、昇降装置の点検、可動部注油、装置全般の稼働確認を行う。

(3) 巡回点検

観測機器の検出部の清掃、消耗品の交換を行う。

(4) 消耗品

消耗品については後日精算変更を行う。

2-5 ダム用観測装置点検

横山ダムの観測機器の系統状況を確認し、別紙「点検表（案）」に基づき点検とともに消耗品等の取り替えを行う。

消耗品などについては、あらかじめ計画工程表作成時に必要な品目予定数量を明記すること。

(1) プラムライン点検

堤体内に設置されているプラムラインを別紙「点検表（案）」に基づき点検を行う。

(2) 漏水計点検

堤体内に設置されている漏水計（4箇所）を別紙「点検表（案）」に基づき点検を行う。

2-6 点検報告書作成

点検結果を整理し報告書を作成する。作成にあたっては、各機器の保守結果の一覧表を作成するものとする。

以 上

点検年月日	令和 年 月 日
点検装置名	漏水計
【所 見】	
【保守部品・予備品・取替等】	
【備 考】	

漏水計

設 備 機器名	漏 水 計	形 式	MV-200RI
	漏水検出器(右岸1)・変換器	製造年月	1999年3月
		製造番号	99058

点検項目	点検内容	点検結果	備考
構造点検	各コネクタのロック機構の状態確認		
	名称版及び各部の歪み・緩み等の有無の確認		
	各部の清掃の実施		
	発信器の状態の確認		
	フロートの確認		
	おもりの確認		
	積・水路の確認		
動作点検	信号出力回路の機能確認		
	実測値の確認		
	流量換算表と測定水位の整合が取れているか		
備考			

・水位可動動作及び追従動作の調整確認

測定範囲: 0～200mm

許容誤差範囲: $\pm 3\%$ ($\pm 30\text{mV}$)許容誤差範囲: $\pm 3\%$ 以内 ($\pm 0.48\text{mA}$)

設定値 (mm)	出力真値 (mA)	外部出力値 (mA)	デジタル表示装置 (hPa)	判定結果
0.0				
20.0				
40.0				
60.0				
80.0				
100.0				
120.0				
140.0				
160.0				
180.0				
200.0				

・別気圧計との比較確認

精度: $\pm 3\%$ ($\pm 6\text{mm}$)

基準値 (mm)	機器データ (mm)	誤差 (mm)	判定

漏水計

設 備 機器名	漏 水 計	形 式	MV-200RI
	漏水検出器(左岸1)・変換器	製造年月	1999年3月
		製造番号	99057

点検項目	点検内容	点検結果	備考
構造点検	各コネクタのロック機構の状態確認		
	名称版及び各部の歪み・緩み等の有無の確認		
	各部の清掃の実施		
	発信器の状態の確認		
	フロートの確認		
	おもりの確認		
	積・水路の確認		
動作点検	信号出力回路の機能確認		
	実測値の確認		
	流量換算表と測定水位の整合が取れているか		
備考			

・水位可動動作及び追従動作の調整確認

測定範囲: 0～200mm

許容誤差範囲: ±3% (±30mV)

許容誤差範囲: ±3%以内 (±0.48mA)

設定値 (mm)	出力真値 (mA)	外部出力値 (mA)	デジタル表示装置 (hPa)	判定結果
0.0				
20.0				
40.0				
60.0				
80.0				
100.0				
120.0				
140.0				
160.0				
180.0				
200.0				

・別気圧計との比較確認

精度: ±3% (±6mm)

基準値 (mm)	機器データ (mm)	誤差 (mm)	判定

漏水計

設 備 機器名	漏 水 計	形 式	WU-021型・MC-2100型
	漏水検出器(右岸2)・変換器	製造年月	2018年2月
	漏水計堰(右岸)	製 造 番 号	1064292

点検項目	点検内容	点検結果	備考
構造点検	各コネクタのロック機構の状態確認		
	堰の変形、名称版及び各部の歪み・緩み等の有無の確認		
	各部の清掃の実施		
	発信器の状態の確認		
	計測面の水平確認		
	堰水路の確認		
	監査廊内水路の確認		
動作点検	信号出力回路の機能確認		
	実測値の確認		
	流量換算表と測定水位の整合が取れているか		
備考			

・水位可動動作及び追従動作の調整確認

測定範囲: 0～150mm

許容誤差範囲: ±0.01mA

許容誤差範囲 : ±0.1mm

設定値 (mm)	出力真値 (mA)	外部出力値 (mA)	デジタル表示装置 mm	判定結果
0.0	4.000			
20.0	4.320			
40.0	4.640			
60.0	4.960			
80.0	5.280			
100.0	5.600			
120.0	5.920			
140.0	6.240			
150.0	6.400			

・実測値との比較確認

精度: ±0.1mm

実測値 (mm)	機器データ (mm)	誤差 (mm)	判定

漏水計

設 備 機器名	漏 水 計	形 式	WU-021型・MC-2100型
	漏水検出器(左岸2)・変換器	製造年月	2018年2月
	漏水計堰(左岸)	製 造 番 号	1064293

点検項目	点検内容	点検結果	備考
構造点検	各コネクタのロック機構の状態確認		
	堰の変形、名称版及び各部の歪み・緩み等の有無の確認		
	各部の清掃の実施		
	発信器の状態の確認		
	計測面の水平確認		
	堰水路の確認		
	監査廊内水路の確認		
動作点検	信号出力回路の機能確認		
	実測値の確認		
	流量換算表と測定水位の整合が取れているか		
備考			

・水位可動動作及び追従動作の調整確認

測定範囲: 0～150mm

許容誤差範囲: ±0.01mA

許容誤差範囲 : ±0.1mm

設定値 (mm)	出力真値 (mA)	外部出力値 (mA)	デジタル表示装置 mm	判定結果
0.0	4.000			
20.0	4.320			
40.0	4.640			
60.0	4.960			
80.0	5.280			
100.0	5.600			
120.0	5.920			
140.0	6.240			
150.0	6.400			

・実測値との比較確認

精度: ±0.1mm

実測値 (mm)	機器データ (mm)	誤差 (mm)	判定

漏水計

設 備 機器名	漏 水 計	形 式	0.5寸
	漏水計堰(右岸)	製造年月	1999年3月
		製造番号	99003

点検項目	点検内容	点検結果	備考
構造点検	名称版及び各部の歪み・緩み等の有無の確認		
	堰の変形及び各部の歪み・緩み等の有無の確認		
	ほこり・ゴミ・汚れ等による各部の清掃の実施		
	取付状態の確認		
	導水管の確認		
	計測面の水平確認		
	堰水路の確認		
	監査廊内水路の確認		
動作点検	信号出力回路の機能確認		
	実測値の確認		
	流量換算表と測定水位の整合が取れているか		
備考			

設 備 機器名	漏 水 計	形 式	0.5寸
	漏水計堰(左岸)	製造年月日	1999年3月
		製造番号	99002

点検項目	点検内容	点検結果	備考
構造点検	名称版及び各部の歪み・緩み等の有無の確認		
	堰の変形及び各部の歪み・緩み等の有無の確認		
	ほこり・ゴミ・汚れ等による各部の清掃の実施		
	取付状態の確認		
	導水管の確認		
	計測面の水平確認		
	堰水路の確認		
	監査廊内水路の確認		
動作点検	信号出力回路の機能確認		
	実測値の確認		
	流量換算表と測定水位の整合が取れているか		
備考			

点検年月日	令和 年 月 日
点検装置名	プラムライン
【所 見】	
【保守部品・予備品・取替等】	
【備 考】	

プラムライン

設 備 機器名	プ ラ ム ラ イ ン	形 式	S-61VR
	信号変換器	製造年月	H24.9
		製造番号	1017

点検項目	点検内容	点検結果	備考
構造点検	目視による設置状態の確認		
	各部の清掃の実施		
	変換器内部の部品の取付状態確認		
動作点検	電源電圧の確認		
	ギア部の動作状況の確認		
	電送試験(検出器の出力と表示値の比較試験)		
	電送試験(表示値と外部出力信号の比較試験)		
	総合検査		
XY顕微鏡、検出器、表示値、外部出力信号の各数値の総合確認			
備考			

プラムライン

設 備 機器名	プ ラ ム ラ イ ン	形 式	DE-03C、DE-B5C
	XY顕微鏡	製造年月	H24.9
		製 造 番 号	1338

点検項目	点検内容	点検結果	備考
構造点検	目視による外観状態の確認		
	各部の清掃の実施		
動作点検	懸垂線の視認状況の確認		
	検出器の読み値(バーニア値)との比較確認試験		
備考			

プラムライン

設 備 機器名	プ ラ ム ラ イ ン	形 式	DP-01C、DFX-01DX
	振り下げ装置・検出器	製造年月	H24.9
		製 造 番 号	1017

点検項目	点検内容	点検結果	備考
構造点検 (検出器)	目視による各部の設置状態の確認		
	ガラス面の状態等の確認		
	各部の清掃・注油の実施		
	内部の湿気状況及びギア部の動作確認		
構造点検 (振り下げ装置)	懸垂線に捻り等がないこと		
	各部の清掃の実施		
	オイルタンク及びオイルの状態確認		
動作点検 (検出器)	電圧及び検出器出力アンプ増幅度の確認		
	検出器内部センサのX、Y各方向の動作確認		
	バーニア値読み取りによる精度確認		
備考			

プラムライン

ダム名	横山ダム	設置場所	プラムライン室	機械番号	
作業年月日		作業者		確認者	

作業項目	作業内容	測定値及び規格値				判定	状況・処置		
機械的動作点検	ギアのかみ合わせ カウンタ動作	ギアのあそび 回転のスムーズさ				良 / 否			
電圧点検	入力電圧	AC	V			良 / 否	(許容値: AC100V±10%)		
	定電圧電源	DC	V			良 / 否	(許容値: DC+12V±10%)		
		DC	V			良 / 否	(許容値: DC-12V±10%)		
電機部品点検	プリント基板	SY-007	目視			良 / 否			
	セルシンモータ	62G	音、電送力			良 / 否			
	ポテンションメータ	伝送試験	電送試験		良 / 否				
電送試験	検出器(バーニア値mm) → 信号変換器(表示値mm)						判定	許容値	
		1	2	3	4	5			6
	X							良 / 否	±0.1mm
	Y							良 / 否	
	信号変換器(表示値mm) → 出力電圧(V)						判定	許容値	
	表示値	0.0	20.0	40.0	60.0	80.0			100.0
	電圧X							良 / 否	±0.001V
電圧Y							良 / 否		
総合検査	項目	検出器とXY顕微鏡の比較		現在値			判定		
		検出器(mm)	顕微鏡(mm)	表示値(mm)		実測値(V)		計算値(V)	
	X							良 / 否	
	Y							良 / 否	
特記事項									

プラムライン

ダム名	横山ダム	設置場所	プラムライン室	機械番号	
作業年月日		作業者		確認者	

作業項目	作業内容				チェック	判定	状況・処置
機械点検	X(T) 送りネジ清掃、注油、点検					良 / 否	
	X(T) 移動レール清掃、注油、点検					良 / 否	
	Y(R) 送りネジ清掃、注油、点検					良 / 否	
	Y(R) 移動レール清掃、注油、点検					良 / 否	
	差動トランス清掃点検					良 / 否	
	顕微鏡架台清掃、点検					良 / 否	
	ネジ緩み点検					良 / 否	
	機械清掃					良 / 否	
電圧点検	項目		測定値		許容値		判定
	入力電源電圧				100V±10%		良 / 否
	差動トランス励磁電圧				2V～4V		良 / 否
	差動トランス残り電圧X(T)				0.03VP-P以下		良 / 否
	差動トランス残り電圧Y(R)				0.03VP-P以下		良 / 否
	X(T) Amp増幅度				40dB以上		良 / 否
	Y(R) Amp増幅度				40dB以上		良 / 否
	サーボモータ励磁電圧				100V±10%		良 / 否
動作点検	項目						判定
	X(T) 方向駆動						良 / 否
	Y(R) 方向駆動						良 / 否
	リミットスイッチ動作						良 / 否
	復帰スイッチ動作						良 / 否
測定精度 バーニア値	X方向		Y方向		精度		
	1		1		±0.1mm		
	2		2				
	3		3				
	4		4				
	5		5				
	平均		平均				
特記事項							

プラムライン

ダム名	横山ダム	設置場所	プラムライン室	機械番号	
作業年月日		作業者		確認者	

作業項目	作業内容					チェック	判定	状況・処置		
機能検査	レンズ清掃						良 / 否			
	ツマミ清掃						良 / 否			
	可動台清掃						良 / 否			
	架台清掃						良 / 否			
	ピント						良 / 否			
精度検査	検出器(バーニア値mm) ⇔ 顕微鏡(バーニア値mm)						判定	許容値		
			1	2	3	4	5			
	X	検出器							良 / 否	±0.1mm
		顕微鏡							良 / 否	
	Y	検出器							良 / 否	
		顕微鏡							良 / 否	
特記事項										

点検年月日	令和 年 月 日
点検装置名	水質自動観測装置
【所 見】	
【保守部品・予備品・取替等】	
【備 考】	

水質自動観測装置

設 備 機器名	水 質 自 動 監 視 装 置	形 式	MAS-011-5型
	検出部	製造年月	H17
		製造番号	2357

点検項目	点検内容	点検結果	備考
カプセル外観	傷、破損、腐食、断線がないか		
水密コネクタ	傷、破損、腐食、断線、水漏れがないか		
ワイパーモータ	傷、破損、腐食、断線、水漏れがないか		
ワイパーブラシ	摩耗していないか		
ブラシアングル	腐食がないか		
濁度計検出器	傷・破損・汚れがないか		
水温計検出器	傷・破損・汚れがないか		
水深計検出器	傷・破損・汚れがないか		
水面検出器	傷・破損・汚れがないか		
備考			

設 備 機器名	水 質 自 動 監 視 装 置	形 式	
	機側制御部	製造年月日	
		製造番号	

点検項目	点検内容	点検結果	備考
表示部	濁度表示	表示しているか	
	水温表示	表示しているか	
	カプセル水位表示	表示しているか	
テスト動作	ウィンチ手動操作	正常に上昇、下降するか	
	ウィンチリモートコントロール	リモートコントロールを繋いで正常に作動するか	
	ワイパー手動操作	押して正常に動作するか	
状態表示ランプ	TM送受信ランプ	テレメータの送受信が来ているか	
	ワイパー動作ランプ	ワイパー動作時点灯するか	
	ワイパー信号ランプ	ワイパー動作時点滅するか	
	上限ランプ	上限リミットが働いたときに点灯するか	
	下限ランプ	下限リミットが働いたときに点灯するか	
電源部	電源電圧	±10%以内	100V
	UPSの動作	外部電源切断時に機側表示部に変化がないこと	
	ケーブル外観	外装の損傷が無い確認	
備考			

水質自動観測装置

設 備 機器名	水 質 自 動 監 視 装 置	形 式	
	ウインチ部	製造年月	
		製造番号	

点検項目	点検内容	点検結果	備考
ケーブル巻取状況	ケーブルがウインチドラムに正常に巻かれているか		
ドラム回転状況	ウインチドラムが正常に回転しているか		
ウインチドラム軸注油	ウインチドラム軸点検、必要時注油する		
チェーン	傷・摩耗・緩みがないか		
スリップリング	スリップリングの固定状態・ネジの緩みがないか		
リレーボックス内	配線端子の緩みがないか		
上限スイッチ	上限を働かせてウインチが自動停止するか		
下限スイッチ	下限を働かせてウインチが自動停止するか		
アーマードケーブル	劣化・外傷・禁句・断線がないか		
プーリー回転状況	プーリーが正常に回転しているか		
プーリー回転軸注油	プーリー回転軸に注油する		
テンションスイッチ	テンションを働かせてウインチが自動停止するか		
カプセルアダプタ	ネジの緩み・腐食がないか		
備考			

水質自動観測装置

設 備 機器名	水 質 自 動 監 視 装 置	形 式	
	機側制御部(横山ダム管理支所内)	製造年月	
		製造番号	

点検項目		点検内容	点検結果	備考
デ イ ジ タ ル 表 示 部	時計表示	基準時刻±60秒で表示しているか		
	濁度表示	表示しているか		
	水温表示	表示しているか		
	カプセル水位表示	表示しているか		
	カプセル海拔表示	表示しているか		
	ダム水位表示	表示しているか		
モ ニ タ 動 作 ラ ン グ	待機中ランプ	カプセルが待機水位にあり点灯する		
	測定中ランプ	測定動作に入り点灯するか		
	定時動作ランプ	定時動作に入り点灯するか		
	テスト動作ランプ	テスト動作(ワイパー、上昇、下降)して点灯するか		
	手動ランプ	機側制御部を手動にしたとき点灯する		
	任意動作ランプ	任意計測をかけたときに点灯するか		
ラ ン プ 状 態 表 示	上昇ランプ	カプセル上昇時に点灯するか		
	下降ランプ	カプセル下降時に点灯するか		
	テンションランプ	以上過重動作時に点灯するか		
	水面検出ランプ	カプセルが水面に出たとき点灯するか		
	ワイパー動作ランプ	ワイパーを動作させたとき点灯するか		
備考				

設 備 機器名	水 質 自 動 監 視 装 置	形 式	
	接続機器(横山ダム管理支所内)	製造年月日	
		製造番号	

点検項目	点検内容	点検結果	備考
光モデム通信装置	送信ランプが点滅しているか		
プリンタ印字確認	測定データが正確に印字されるか		
備考			

点検結果及び所見

点検年月日	令和 年 月 日
点検装置名	濁度観測装置
【所 見】	
【保守部品・予備品・取替等】	
【備 考】	

濁度計

設 備 機器名	濁度観測装置	形 式	K72型(積分球方式)
	検出部	製造年月	H22.3
		製造番号	

点検項目	点検内容	点検結果	備考
カプセル外観	傷、破損、腐食、断線がないか		
水密コネクタ	傷、破損、腐食、断線、水漏れがないか		
ワイパーモータ	傷、破損、腐食、断線、水漏れがないか		
ワイパーブラシ	摩耗していないか		
ブラシアングル	腐食がないか		
濁度計検出器	傷・破損・汚れがないか		
水温計検出器	傷・破損・汚れがないか		
伝導率計	傷・破損・汚れがないか		
備考			

設 備 機器名	濁度監視装置	形 式	
	制御部	製造年月日	
		製造番号	

点検項目	点検内容	点検結果	備考
表示部	濁度表示	表示しているか	
	水温表示	表示しているか	
	水位表示	表示しているか	
	異常ランプ	異常ランプが点灯していないか	
テスト動作	ワイパー操作	正常に動作するか	
	手動操作	手動操作で正常に作動するか	
電源部	電源電圧	±10%以内	
	ケーブル外観	外装の損傷が無い確認	
備考			

濁度鉛直観測装置

No.	点検項目	点検内容	点検結果	記事
1	検出部	外観に傷、凹み等の異常がないか目視にて確認を行う。		
		各コードに傷等の異常がないか目視にて確認を行う。		
		各部止めネジ・ボルト類に緩みがないか確認を行う。		
		各洗浄機構(ワイパー)の動作確認を行う。		
		濁度検出部ガラス面に傷等の異常がないか目視にて確認を行う。		
		各部の清掃を行う。		
		検出部の清掃を行うと同時に交換部品等の交換を行う。		
		濁度・水温指示試験を行う。(濁度に関しては、ホルマジン標準液にて0,400度の確認をおこなう。)		
2	吊り下げ部	外観に傷、凹み等の異常がないか目視にて確認を行う。		
		各部止めネジ・ボルト類に緩みがないか確認を行う。		
		検出部ケーブルに傷等の異常がないか目視にて確認を行う。		
		荷重センサの確認をおこなう。		
3	機側測定制御部	入力電圧の確認をおこなう。	AC100V	
			DC12V	
		停電時の動作補償バッテリーの確認をおこなう。		
		外観に傷、凹み等の異常がないか目視にて確認を行う。		
		各コードに傷等の異常がないか目視にて確認を行う。		
		各部止めネジ・ボルト類に緩みがないか確認を行う。		
		データ保存用メモリーカードの確認をおこなう。		
		各部の清掃を行う。		
		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態の点検を行う。		
		表示、データの送信機能等総合動作の確認を行う。		
4	中継ボックス	据付状態の確認を行う。		
		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態を確認する。		
		入力電圧の確認をおこなう。		
		機器本体の清掃を行う。		

濁度観測装置 (FOMA)

No.	点検項目	点検内容	点検結果	記事
1	検出部	外観に傷、凹み等の異常がないか目視にて確認を行う。		
		各コードに傷等の異常がないか目視にて確認を行う。		
		各部止めネジ・ボルト類に緩みがないか確認を行う。		
		各洗浄機構(ワイパー)の動作確認を行う。		
		濁度検出部ガラス面に傷等の異常がないか目視にて確認を行う。		
		各部の清掃を行う。		
		検出部の清掃を行うと同時に交換部品等の交換を行う。		
		濁度・水温指示試験を行う。(濁度に関しては、ホルマジン標準液にて0,400度の確認をおこなう。)		
2	吊り下げ部	外観に傷、凹み等の異常がないか目視にて確認を行う。		
		各部止めネジ・ボルト類に緩みがないか確認を行う。		
		検出部ケーブルに傷等の異常がないか目視にて確認を行う。		
3	機側測定制御部	入力電圧の確認をおこなう。	DC12V	
		外観に傷、凹み等の異常がないか目視にて確認を行う。		
		各コードに傷等の異常がないか目視にて確認を行う。		
		各部止めネジ・ボルト類に緩みがないか確認を行う。		
		データ保存用メモリーカードの確認をおこなう。		
		各部の清掃を行う。		
		接続ケーブル、コネクタ及び端子等の接続状態の点検を行う。		
		表示、データの送信機能等総合動作の確認を行う。		
		時刻の校正を行う		
		太陽電池出力の確認をおこなう。		
		バッテリーの確認をおこなう。(電圧及び内部抵抗)		
		太陽電池充電制御装置の動作を確認する。		
		据付状態の確認を行う。		

点検内容一覧(K-82S)
元藤橋水質自動監視所
K-82計 採水部等

(K-82計 採水部等)

別紙

分類		細 目	通常点検	精密点検	巡回点検	備 考
採水部	採水ポンプ 系統	ポンプ外観点検およびストレーナ洗浄	○	○	△	
		揚水量確認	○	○	○	
		逆洗浄機構の点検	○	○	○	
		絶縁抵抗測定	△	○	△	
		採水ポンプ電圧・電流の確認	○	○	○	
	コンプレッサ	油量確認	△	○	△	
		オイルの交換	△	△	△	
		ドレン抜き	○	○	△	
		エアフィルタの清浄	△	○	△	
		Vベルトの点検	△	△	△	
		異常音の点検	○	○	△	
		異常発熱の点検	○	○	△	
		圧力スイッチの動作点検	○	○	△	
		安全弁の動作点検	○	○	△	
	送水管 ・エア配管	採水部バルブ類の点検（エアピンチ弁）	○	○	○	
		送水管および可とう管の点検	○	○	○	
		エア配管の点検	○	○	○	
		エアピンチバルブの交換	△	△	△	
計測部	検出部	検出管水あかの清掃	○	○	○	
		検出管自動洗浄機構の点検	○	○	○	
	バルブ・チューブ・エア配管	計測部エアピンチバルブ類の動作確認	○	○	○	
		エア配管の点検	○	○	○	
	洗浄系	配管チューブ類の交換	△	△	△	
		洗浄水供給ポンプの点検	○	○	○	
		洗浄水循環ポンプの動作確認	○	○	○	
		洗剤注入ポンプの動作確認	○	○	○	
		洗剤タンクの洗剤補充	○	○	△	
		洗浄水循環状況の確認	○	○	○	
検出器	水温	水温センサーの洗浄	○	○	○	
		水温センサーの校正	○	○	△	
	pH	pHセンサーの洗浄	○	○	○	
		pHセンサーの校正	○	○	△	
		比較内部液補充・交換	○	○	△	
		比較センサー液絡部交換	△	△	△	
		ガラスセンサー交換	△	△	△	
		センサー本体交換	△	△	△	
	導電率	導電率センサーの洗浄	○	○	○	
		導電率センサーの校正	○	○	△	
		センサー本体交換	△	△	△	
	濁度	濁度センサーの洗浄	○	○	○	
		濁度センサーの校正	○	○	△	
	溶存酸素	溶存酸素センサーの洗浄	○	○	○	
		溶存酸素センサーの校正	○	○	△	
		センサーワグユニット（隔膜・内液）交換	△	○	△	
		センサー本体交換	△	△	△	
指示記録部	プリンター部	プリンターの動作点検およびデータの印字	○	○	○	
		インクの点検・交換	○	○	○	
		印字データの内容確認	○	○	○	
		プリンター用紙の残量確認・補給	○	○	○	
	外部出力部	テレメータ用データ出力（電圧）の測定	△	○	△	
		A/D変換精度確認、調整	△	△	△	
		測定値及び接点出力確認	△	△	△	
	表示部	表示部の表示濃度と表示内容の確認	○	○	○	
	記録部	メモリー用電池容量確認	△	△	△	
	ファンクション	ファンクションキーの動作確認	○	○	△	
採水洗浄制御部	タイマー	時計ズレ確認、修正	○	○	○	
		表示用ランプの点検	○	○	○	
		シーケンス部	タイムチャート動作の確認（洗浄シーケンス）	○	○	○
	電気設備	リレーの点検	○	○	△	
		負荷動作と接点出力確認	△	○	△	
		表示用ランプ点検	○	○	○	
	観測所設備・その他	電圧計、電流計の指示確認	○	○	○	
		各部動作の点検	○	○	○	
		空調装置のフィルター洗浄	△	△	△	
	その他	試薬類・洗剤の残量確認・交換	○	○	○	
		照明灯の点検	○	○	○	
		観測所の異常の点検	○	○	○	
		室内及び敷地内の清掃	○	○	○	

測定項目・校正方法(K-82S)

別紙

元藤橋水質自動監視所

項目		校正方法
水温	ZERO校正	氷水中の電極を浸し、水銀温度計の指示に校正する
	SPAN校正	温水中の電極を浸し、水銀温度計の指示に校正する
pH	ZERO校正	pH-7標準液に電極を浸し、温度特性表の数値に校正する
	SPAN校正	pH-9標準液に電極を浸し、温度特性表の数値に校正する
溶存酸素	ZERO校正	5%亜硫酸ナトリウム溶液に電極を浸し、校正する
	SPAN校正	空気飽和水に電極を浸し、温度特性表の数値に校正する
電気伝導度	ZERO校正	電極を大気解放にし、校正する
	SPAN校正	電気伝導度標準液に電極を浸し、校正する
濁度	ZERO校正	センサー測定部に純水を浸し、校正する
	SPAN校正	センサー測定部にホルマジン溶液を浸し、校正する

表－1

1 水質自動観測装置点検回数表

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	総回数
通常点検		1				1				1			3	3
精密点検			1										1	1
巡回点検	1			1	1		1	1	1		1	1	8	8

2 水質自動監視所点検回数表

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	総回数
通常点検		1				1				1			3	3
精密点検			1										1	1
巡回点検	1			1	1		1	1	1		1	1	8	8

3 濁度監視装置点検回数

単位：回

3－1 濁度監視装置点検回数(網場・元藤橋)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	総回数
通常点検	1							1					2	4
精密点検			1										1	2
巡回点検		1		1	1	1	1		1	1	1	1	9	18

3－2 濁度監視装置点検回数(新川尻橋・奥揖斐湖橋)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	総回数
通常点検													0	0
精密点検			1										1	2
巡回点検				1	1	1	1						4	8

※11月以降は冬期閉局

4 その他の観測装置点検月

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	総回数
プラムライン			1										1	1
漏水計			1										1	1

ワイパーパッド	個	20	校正液	個	10
ワイパーゴム	個	40	シール材	個	4
校正液400FTU	個	10			

別紙－2 「歩掛参考見積書 様式」

令和8年度横山ダム観測機器保守点検業務（仮称）

数量総括表

項目	工種	種別	細別	規格等	単位	数量	単価	金額	摘要・備考
直接測量費					式	1			
	計画・準備				式	1			
		計画・準備			式	1			
			計画・準備		式	1			単価表1号を参照
	観測機器保守点検				式	1			
		水質自動観測装置点検			式	1			
			通常点検		回	3			単価表2号を参照
			精密点検		回	1			単価表3号を参照
			巡回点検		回	8			単価表4号を参照
		水質自動監視所点検			式	1			
			通常点検		回	3			単価表5号を参照
			精密点検		回	1			単価表6号を参照
			巡回点検		回	8			単価表7号を参照
			資料整理		式	1			単価表8号を参照
		濁度観測装置点検			式	1			
			通常点検		回	4			単価表9号を参照
			精密点検		回	4			単価表10号を参照
			巡回点検		回	26			単価表11号を参照
		ダム用観測装置点検			式	1			
			プラムライン点検		回	1			単価表12号を参照

別紙-2 「歩掛参考見積書 様式」

令和8年度横山ダム観測機器保守点検業務（仮称）

数量総括表

[illegible]

別紙-2 「歩掛参考見積書 様式」

[illegible]

別紙-2 「歩掛参考見積書 様式」

[illegible]

別紙-2 「歩掛参考見積書 様式」

[illegible]

別紙-2 「歩掛参考見積書 様式」

[illegible]

別紙-2 「步掛参考見積書 様式」

[illegible]

別紙-2 「歩掛参考見積書 様式」

[illegible]

別紙-2 「歩掛参考見積書 様式」

[illegible]

別紙-2 「歩掛参考見積書 様式」

[illegible]

別紙-2 「步掛参考見積書 様式」

[illegible]

別紙-2 「歩掛参考見積書 様式」

[illegible]

別紙-2 「歩掛参考見積書 様式」

[illegible]

別紙-2 「歩掛参考見積書 様式」

[illegible]

別紙-2 「歩掛参考見積書 様式」

[illegible]

別紙-2 「歩掛参考見積書 様式」

[illegible]

別紙-2 「歩掛参考見積書 様式」

[illegible]

様式3の21

種別	観測所記号											

時刻水質月表 (水質自動監視装置)

水系名					河川名					観測所名						読み																					
項 目												単位							() 年 月																		
時	日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日					
	1時					
	2時					
	3時					
	4時					
	5時					
	6時					
	7時					
	8時					
	9時					
	10時					
	11時					
	12時					
	13時					
	14時					
	15時					
	16時					
	17時					
	18時					
	19時					
	20時					
	21時					
	22時					
	23時					
	24時					
	平均					
	最大値					
	最小値					

() 年 月

様式3の22

種別	観測所記号									

水 質 月 表 (水質自動監視装置)

水系名		河川名		観測所名		読み		() 年 月 日 記入								
項目(単位)	()			()			()			()			()			備 考
日	最小値	最大値	平均値	最小値	最大値	平均値	最小値	最大値	平均値	最小値	最大値	平均値	最小値	最大値	平均値	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	

1. 欠測の場合は空欄とし理由を記入する。

様式3の23

[illegible]

水 質 年 表 (水質自動監視装置)

() 年 月 日 記入

[illegible]